

第1回（次期）北九州市障害者支援計画策定委員会

都市基盤・自立生活支援部会（会議要旨）

日 時	平成23年8月31日（水）10:00～12:00
場 所	総合保健福祉センター6階 視聴覚室
出席委員 （9名）	市川委員、大関委員、桑園委員、小柳委員、杉原委員 林委員、比舗委員、古賀常務理事、オブザーバー 木下委員
欠席委員 （1名）	米島委員
事 務 局	【保健福祉局】 障害福祉部長、障害福祉課長、地域移行・精神保健福祉担当課長、障害福祉センター所長、精神保健福祉センター所長、いのちをつなぐネットワーク推進課 【建設局】 道路計画課 【消防局】 危機管理室地域防災課 【事業者】 福岡北九州高速道路公社北九州事務所、北九州高速鉄道株式会社 【建築都市局】 都市交通政策課、建築指導課 【交通局】 運輸課
次 第	1 開会 2 議事 (1)(次期)北九州市障害者支援計画の基本的な施策について (施策の方向性：5 自立生活のための地域基盤整備について) <地域の都市基盤整備について> ・「北九州市福祉まちづくりネットワーク」からの事例報告 <本市の防災対策の推進について> ・地域防災計画の概要説明（消防局危機管理室） ・災害時要援護者避難支援制度の概要説明 (保健福祉局いのちをつなぐネットワーク推進課) (2)(次期)北九州市障害者支援計画の基本的な施策について (施策の方向性：6 雇用・就業機会の確保と拡大について) 3 閉会

会 議 経 過

発言者	発 言 要 旨
事務局	<p>【開会】</p> <p>ただ今から、第1回(次期)北九州市障害者支援計画策定委員会都市基盤・自立生活支援部会を開催する。</p> <p>より市民の皆様の声を反映させるため、市政モニターの木下様にもご出席いただいている。また、日ごろから、行政や交通事業者と共にバリアフリー化についての意見交換や、現地視察などを行っている、障害当事者団体等の任意団体「北九州市福祉のまちづくりネットワーク」で活動されている、障害福祉ボランティア協会の古賀常務理事にもご参加いただいている。</p> <p>本日は、バリアフリーの観点から委員の皆様のご議論を聞いていただくために、交通関係者に事務局として参加いただいている。</p> <p>交通関係者自己紹介</p> <p>また、防災の関係から関係部署にご参加いただいている。</p> <p>防災関係部署自己紹介</p> <p>本部会の公開について、この部会も策定委員会と同様に公開とさせていただく。なお、会議終了後は、会議録を作成し、市のホームページに掲載して市民の皆様へ情報提供させていただくので、ご協力をお願いします。</p> <p>なお、本日は米島委員が所用のため欠席である。</p> <p>配付資料確認</p> <p>この後の進行は、部会長をお願いします。</p>
部会長	<p>第1回目の都市基盤・自立生活支援部会ということで、委員の皆様へ自己紹介をお願いします。</p> <p>委員自己紹介</p> <p>【議事】</p> <p>それでは、議事に沿って進めてまいりますので、委員の皆様にはご協力をお願いします。</p>

<p>障害福祉課長</p>	<p>【(次期)北九州市障害者支援計画の基本的な施策について】</p> <p>議事2-(1)の(次期)北九州市障害者支援計画の基本的な施策の施策の方向性5の自立生活のための地域基盤整備について事務局から説明をお願いします。</p> <p>説明に入らせていただく前に報告する。第1点目に、策定委員会について、2回開催し、方向性まで議論いただいた。また、8月16日には、フォローアップ委員会を開催し、現計画の総括をさせていただいた。総括の結果については、次回の策定委員会、もしくは部会でご報告をさせていただこうと思う。</p> <p>2点目に、8月23日に障害者スポーツセンターの見学会を開催し17名の委員の皆様に参加いただいた。社会参加の促進、バリアフリーの取り組みを見ていただくことで、多くの委員の皆様にご参加いただいたことをお礼申し上げます。このスポーツセンターは、一般の市民の方と障害のある方の触れ合う場という意味合いを持っており、3階建てのバリアフリー工事をされた施設のため、大規模災害が起きたときの避難場所としても、今後活用していけるのではないかと考えている。</p>
<p>部会長</p>	<p><u>施策の方向性5について資料1に基づき事務局説明</u></p>
<p>部会長</p>	<p>続いて、議事2-(1)地域の都市基盤整備について、「北九州市福祉のまちづくりネットワーク」からの事例報告をお願いします。</p>
<p>部会長</p>	<p><u>資料2に基づき古賀常務理事説明</u></p>
<p>部会長</p>	<p>続いて、議事2-(1)「本市の防災対策の推進について」、地域防災計画の概要説明を、消防局危機管理室から説明をお願いします。</p>
<p>部会長</p>	<p><u>資料3に基づき消防局危機管理室説明</u></p>
<p>部会長</p>	<p>続いて、同じく議事2-(1)「災害時要援護者避難支援制度の概要説明」を消防局危機管理室から説明をお願いします。</p>
<p>部会長</p>	<p><u>資料4に基づき消防局危機管理室説明</u></p>
<p>委員</p>	<p>「(次期)北九州市障害者支援計画の基本的な施策」等についての説明があった。ご意見やご質問はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料1において、実態調査の結果の記載がある。身体・知的・精神は入っ</p>

	<p>ているが、発達障害者は入っていない。発達障害者の実態調査は実施しなかったのか。</p>
<p>障害福祉課長</p>	<p>発達障害者の調査は実施しているが集計中である。集計次第追加記載する。</p>
<p>委員</p>	<p>バリアフリーのまちづくりについて、意見がある。北九州市はバス路線が網羅している。ただ、バス停の整備が追いついていないため、バスに乗りづらいと感じる。また、モノレールやJR駅との結節ができていない。公共交通の結節の整備は非常に重要であると考えます。</p> <p>ここで、今の支援計画の案では、道、公園、アクセスの分野別で記載されているが分かりづらいので課題別に書く方法を提案する。</p> <p>例えば、これからは表示や音声による情報提供も重要になってくるので、分野別から課題別にするというのが案としてある。</p> <p>それから災害時要援護者避難支援事業について質問である。この事業は共助を促進する事業であると聞いている。行政が個別に避難支援プランを立てるというよりは、地域で顔が見えるようにという共助の促進の事業かと聞いている。</p> <p>次に、最重度の人たちは、支援センターが支援プランを作るといようなところの住み分けが上手くいくのか心配である。</p> <p>また、本事業についての対象者は身体的要件及び地理的要件の2つの条件があった場合に、1万3000人である。市全域での対象者を推定したらどのくらいの数字になるのか。また、地理的要件にかかる地域が市全域の何パーセントになるのか教えていただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>災害時要援護者避難支援事業の核は、地域コミュニティと行政（区役所・消防署など）の協働で推進する。また、国のガイドラインにおいても、公助、行政が助ける・支援するが、災害が起きたときには、行政のマンパワーにも限界があるので、基本的には自助、ご自身で避難していただく。次に、共助、地域の方と協働で防災力を高めながらやっていくということで、地域コミュニティの再構築、活性化がキーポイントになっている。</p> <p>次に、地理的要件の件についてである。土砂災害、河川氾濫、高潮災害の危険がある地域は市内で約52.6km²である。防災情報マップに土砂災害や河川氾濫の地域が示されているが、基本的にはこのマップのエリアである。</p> <p>資料1の今後の方向性の箇所、「基幹相談支援センターが中心となり、災害時の緊急対応について個別の支援プログラムの作成を検討する」ということで、まだ、基幹型の相談支援センターはできていない。そのため、できた後に、災害時の要援護者の個別プランの整合性について検討したい。</p>

委員	<p>災害が起こったときに、自分の存在の情報を誰かに知ってもらいたいというニーズが非常にあるので、支援計画の方向性に書き込まれたらいいかと思っている。</p>
部会長	<p>続いて、施策の方向性6の雇用・就業機会の確保と拡大について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>施策の方向性6について資料1に基づき事務局説明</p>	
委員	<p>資料1の6ページにある「能力に合わせた」という表現を変えたほうが良い。</p>
障害福祉課長	<p>「能力」の表現については、意見を伺いながら他の表現や修飾語をつけるかどうかについて、ご相談させていただきたい。</p>
委員	<p>資料1の5ページの「仕事をしている人」の箇所では一般就労と福祉的就労の両方を踏まえて、この「仕事をしている人」という解釈でよいか。</p>
委員	<p>正規の仕事に就いている人、福祉的就労に従事している人、それを含めて何らかの仕事をしている障害者はとかいう形で、もう少し詳しく説明しないと分からない。</p>
障害福祉課長	<p>「仕事をしている人」の箇所を分かりやすく表現する。</p>
委員	<p>今度の大地震の後、福祉的就労の人たちの仕事が激減している。施設長が地域に出て常に仕事があるという仕組みにしないといけない。そのため、障害福祉課としても施設に対し、指導のようなものも考えていかなければならない。事業所任せだと小規模なところはつぶれて工賃がもらえない形になり、何のために通っているのか分からなくなる。</p>
障害福祉課長	<p>福祉的就労について、障害のある方が意欲や夢をもって関われるようなものにしたいので、具体的な方法については色々な施設の意見を聞きながら考えていこうと思っている。また、販路の仕組みについても支援計画の中で方向性を出しながら検討していきたい。</p>
部会長	<p>それでは、本日の部会は終了するが、事務局から何かあればお願いします。</p>
事務局	<p>本日の議題についてご意見があれば、金曜日までにEメールにて返信いた</p>

部会長

だくようお願いします。

それでは、本日の「(次期)北九州市障害者支援計画策定委員会都市基盤・自立生活支援部会」を終了する。